

栃薬工だより

第34号

■平成24年度 定期総会

5月23日(水)、平成24年度定期総会が、宇都宮市上大曾町の「ホテル東日本宇都宮」にて開催されました。

溝田会長のあいさつ、ご来賓の八島利光栃木県保健福祉部薬務課長のご祝辞に続き、優良従業員表彰式が開催されました。

今回は、21名の方々が表彰されました。受賞されたのは、当会会員の各企業において、長年勤務し、その成績が他の模範となる方々です。高島副会長から受賞者選考経過の説明があり、会長から受賞者代表の方へ表彰状と記念品を贈呈いたしました。受賞者を代表して、東芝メディカル製造株式会社の田中重敏氏から謝辞がありました。

続いて、議事に移り、当会の規約により会長が議長となり、まず、事務局から出席者の報告(正会員53社のうち、出席32社、委任状提出14社)があり、総会が成立していることが確認されました。議長が議事録署名人2人(三和生薬株式会社・岡田氏、日本理化学薬品株式会社・前泊氏)を指名したのち、第1号議案「平成23年度事業報告」と第2号議案「平成23年度収支決算報告」が一括上程され、上田監事の監査報告の後、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。

続いて第3号議案「平成24年度事業計画(案)」と第4号議案「平成24年度収支予算(案)」についても同様に原案どおり可決されました。

第5号議案の役員改選については、議長が役員(理事と監事)の選出方法について諮ったところ、執行部一任となり、執行部案を提示したところ異議がなく、新しい役員が選出されました。

続いて別室で新しく選出された理事による互選で、新会長にはマニー(株)の松谷正光氏が、新副会長には栄研化学(株)の窪田信幸氏、ジェーピーエス製薬(株)の富永英夫氏、不二ラテックス(株)の小野塚文雄氏が選出されました。

最後に新役員の方々からあいさつがありました。

総会終了後に、優良従業員表彰の受賞者の記念撮影を行いました。



溝田会長あいさつ



八島薬務課長祝辞



松谷新会長あいさつ

優良従業員表彰受賞者一覧 (敬称略)

勤続30年以上

東芝メディカル製造(株)	田中 重敏
東芝メディカル製造(株)	藤井 美都夫
田辺三菱製薬工場(株)	深町 隆
東芝メディカル製造(株)	阿久津 博道
栄研化学(株)	永瀬 研治
HOYA(株)ハツタツ益子事業所	小口 智

勤続20年以上

田辺三菱製薬工場(株)	茂呂 昌市
ジェーピーエス製薬(株)	中島 修
ジェーピーエス製薬(株)	五味淵 三寿夫
ジェーピーエス製薬(株)	高田 貢
HOYA(株)ハツタツ益子事業所	東 佐奈枝
不二ラテックス(株)	伊藤 順子
富士フィルムオブティクス(株)	小山 功
富士フィルムオブティクス(株)	浅海 祐子

勤続10年以上

(株)シーボン	中里 晋士
(株)カナエ	橋本 智美
(株)カナエ	國府田 久美子
(株)カナエ	保坂 仁美
(株)シーボン	高橋 達也
日本プロテイン(株)	橋本 好則
日本プロテイン(株)	渡辺 淳一

5月23日に開催された定期総会において役員改選がありました。新・旧会長のあいさつです。

就任のごあいさつ

栃木県薬事工業会 会長 松谷 正光



この度、栃木県薬事工業会の会長を務めさせて頂く事になりました、松谷正光でございます。

昨年は東日本大震災が起き、地震、火災、津波、液状化、放射能、風評被害等6重苦が襲いました。今年に入ってからは、大きな竜巻や豪雨なども発生しました。被災された方々には心からお見舞申し上げます。

栃木県薬事工業会は、医薬品・医薬部外品・化粧品・医療機器を取り扱う業界団体で、昭和49（1974）年設立後、38年の歴史ある工業会です。特に最近の生産金額は、医薬品は全国5～6位、医療機器は1～2位を占めており、県産業界においても重要な位置を占めており、自動車、航空宇宙等とともに医療機器が県振興産業と位置づけられております。

日本経済はユーロ危機が発生、超超円高、株安、ユーロ安、ドル安が続いており、厳しい状況にあります。一方で企業はコーポレートガバナンス（企業統治）、コンプライアンス（法令順守）が強く求められております。

このようなときに会長に就任しその職務の重さと役割を痛感しておりますが、幸い前会長溝田様、前副会長田中様は引き続き理事に、前理事・監事会社も変更無く継続と決まりましたことと、県薬務当局の従来からの暖かいご指導、ご鞭撻がいただけますので、緊張感の中にも安心して、副会長の窪田様、富永様、小野塚様、理事・監事の方々とともに、会員相互の研鑽と親睦に努める所存です。

会員の皆様のご支援、ご指導よろしく願いいたします。

退任のごあいさつ

栃木県薬事工業会 前会長 溝田 雅洋



この度、平成24年度定期総会をもちまして、会長を退任させて頂きました。平成20年総会において佐藤前会長（グラクソスミスクライン）から引継いで以来4年、会員の皆様のご協力・ご支援に支えられ、また、栃木県薬務課の適切なお指導・ご援助を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

毎年の事業計画も、副会長、理事・監事の皆様のご意見、ご協力を戴き、できるだけ多くの会員企業が参加できるよう、たとえば優良企業視察研修を近隣企業で対応したり、薬と健康の週間に工業会のブースを設けたりと、活動してきました。

平成23年3月11日、東日本大地震がございました。会員会社の中には甚大な被害が出たところもあり、さらには福島第一原発事故の影響も加わって、震災からの復旧に計画停電、夏季の電力制限等、医薬品や医療機器等の生産には大変に支障の多い状態でした。しかし各社それぞれが工夫した結果「人の生命と健康を守る製品を継続的、安定的に供給する」という社会的責任を果たせて来られたものと思っております。

グローバル化がとても速いスピードで進んでいる昨今ですが、松谷新会長を中心とした新体制の下、薬事工業会が益々発展することをお祈り申し上げ、退任の挨拶といたします。

これからも微力ではございますが工業会の理事として会の発展に少しでもお役に立てればと思っております。宜しく願い申し上げます。

新役員あいさつ

新たに就任された理事・監事の方々からご挨拶をいただきました。

中外製薬工業株式会社 金沢 孝基 様



この度、前任の高島から引継ぎ、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました中外製薬工業株式会社 宇都宮工場の金沢です。

弊社宇都宮工場は、中外製薬株式会社のバイオ医薬品製造における主力工場ですが、1990年から、日本初の本格的なバイオ医薬品である遺伝子組み換えエリスロポエチン製剤の生産を機に操業を開始し、バイアル型の溶液／凍結乾燥製剤のほかにプレフィルドシリンジ型の注射剤などを製造しております。さらに、国内最大規模の培養槽を用いて、関節リュウマチ治療薬である抗体医薬の製造を行っており、国内、欧州、米国も含め多くの国々に提供しております。一方、ロシュ社で製造されたバイオ医薬品についても、日本市場向けの供給も担っております。

これまでは、薬務課、栃木県薬事工業会の皆様には多大なご指導を賜っております。この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も薬事工業会の発展のため、微力ではありますが理事としての役割を果たしてまいりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。

日本サーファクタント工業株式会社 木幡 康則 様



この度、前任の村田から引き継ぎ、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、日本サーファクタント工業の木幡です。

弊社は界面活性剤、ビタミン誘導体、油性成分、各種配合品などの製造を行い、パーソナルケア市場にユニークな製品を提供しています。1968年に宇都宮市平出工業団地に新工場を建設して以来、医薬品、食品添加物の製造許可工場として品質、安全ともに誇れる製品づくりのために職場環境にも深く配慮した活動を行っています。

これまで薬務課、薬事工業会の皆さまには多大なご指導、ご鞭撻を賜っており、大変感謝しております。

私の専門は物理化学、有機合成化学であります。今後、薬事工業会の発展のため微力ではありますが、貢献できるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

全薬工業株式会社 大鹿 明 様



この度、前任の坂ノ上から引き継いで栃木県薬事工業会の監事を務めさせて頂くことになりました『かぜにジキニン』でお馴染みの全薬工業株式会社栃木工場の明です。

弊社栃木工場は、1985年に東京都練馬区より栃木県大田原市に移転し操業を開始して以来、医療用医薬品、OTC医薬品、医薬部外品、化粧品等幅広く製造を行っております。栃木工場は清流那珂川のほとりに位置し、樹齢100年余の赤松約700本を中心とした自然林が広がる素晴らしい立地環境であることから、別名「公園工場」とも呼ばれています。

製薬工場としての諸条件を満たす栃木工場は、「安全第一・品質第一」をモットーに、研究・開発部門が確立した薬効と安全性を正確に製品化し、市場へと送り出しています。

これまで薬務課、そして薬事工業会の皆様には多大なる御指導、御鞭撻を賜っております。この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も、薬事工業会の発展のため、微力ながら監事としての職務を果たし、少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

■平成24年度 栃木県薬事工業会役員一覧 (敬称略)

平成24年5月23日現在

役職名	氏名	会社名	役職名	氏名	会社名
会長	松谷 正光	マニー(株)	理事	小寺 淳一	グラクソ・スミスクライン(株)
			理事	三上 直子	(株)シーボン
副会長	窪田 信幸	栄研化学(株)	理事	三谷 毅	田辺三菱製薬工場(株)
副会長	富永 英夫	ジェーピーエス製薬(株)	理事	金沢 孝基	中外製薬工業(株)
副会長	小野塚文雄	不二ラテックス(株)	理事	阿部 賢一	東芝メディカルシステムズ(株)
			理事	中西 賢介	(株)ナカニシ
監事	上田 国義	花王(株)	理事	木幡 康則	日本サーファクタント工業(株)
監事	栄谷 治	興和(株)	理事	田中 哲好	久光製薬(株)
監事	大鹿 明	全薬工業(株)	理事	土井 克彦	フォルテグロウメディカル(株)
			理事	溝田 雅洋	持田製薬工場(株)

■平成24年度 一般会計収入支出予算

定期総会で可決された当会の平成24年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部

科目	予算額
1 会費	5,190,000
2 県からの受託金	0
3 事業収入	50,000
4 雑収入	50,675
5 繰越金	577,325
収入合計	5,868,000

支出の部

(単位：円)

項目	予算額
1 会議費	480,000
1 定期総会	330,000
2 理事会等	150,000
2 事務費	2,340,000
1 職員費	1,980,000
2 事務費	350,000
3 事務局活動費	10,000
3 事業費	2,220,000
1 研修会費	1,500,000
2 表彰費	200,000
3 啓発費	290,000
4 会報発行費	230,000
5 災害時避難所常備薬備蓄事業費	0
4 負担金	220,000
1 事務所負担金	200,000
2 各種協議会等	20,000
5 記念大会等準備積立金	300,000
6 予備費	308,000
支出合計	5,868,000

「県内医療・理工系学生のための工場見学・懇談会」開催

平成17年度から薬事工業会事業として、県内の医療・理工系学生を対象に医薬品や化粧品等の製造工場の見学・懇談会を開催しておりますが、今年度は、田辺三菱製薬工場（株）足利工場様の御協力を得て、9月6日（木）に開催いたしました。

今回は、国際医療福祉大学薬学部、宇都宮大学工学部等の学生と関係者合わせて16名が参加しました。

宇都宮駅を10時に出発したバスは快晴の東北道・国道50号を走り、正午に工場到着。会議室で昼食後、工場見学会開始までの間に、工場の敷地内を案内していただきました。

工場見学会が始まると、薬事工業会の松谷会長から主催者あいさつ、三谷工場長から歓迎のあいさつを兼ねて創薬全般の話の後、担当者から工場概要の説明を受け、工場紹介DVDを見せていただきました。

GMP入室教育を受けた後、2班に分かれて、固形製剤の包装エリア、品質管理部試験室、製品倉庫を見学いたしました。見学中の質問にも、ていねいに分かりやすく説明していただきました。また、試験室では、ガスクロのカラムを間近で見せていただきながら、原理等を説明していただきました。

懇談会では、学生さんから、見学直後の感想として、「包装工程は、想像以上に機械化・簡素化されていた」、「試験室では、多くの分析機器がありびっくりした」、「工場の雰囲気アットホームでよかった」などが述べられました。また、「がん治療に用いられる分子標的薬は製造しているのか」などの質問が出され、「鍵と鍵穴」や「分子設計」の説明を受けるなど、工場側との活発な意見交換が行われました。

有意義な見学・懇談会は午後4時15分に終了し、工場の入口で記念撮影をして、工場を後にしました。

最後に、今回の事業を快く承諾していただいた田辺三菱製薬工場（株）足利工場の三谷工場長をはじめ工場の皆様には多大なる御協力を賜りました。紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。



工場長あいさつ



見学



懇談会



集合写真

第52回栃木県公衆衛生大会及び第50回栃木県公衆衛生学会開催

■ 第52回栃木県公衆衛生大会

平成24年9月7日（金）、第52回栃木県公衆衛生大会が宇都宮市内の栃木県総合文化センターで開催されました。

この大会において、当会の久光製薬株式会社生産環境本部宇都宮工場様が薬事衛生優良施設の部で知事表彰を受賞し、福田知事から表彰状が手渡されました。

同社は、企業使命「貼って手当てすることの良さを伝える」を通じて、「世界の人々のQOL向上を目指す」こと経営理念に定め、常に高品質ですぐれた商品を社会に提供しております。GMPに基づき製造管理や品質管理、品質保証業務を行い、高品質を維持する努力を継続していることが高く評価されました。



■ 第50回栃木県公衆衛生学会

同日午後から開催された公衆衛生学会では、花王株式会社様、グラクソ・スミスクライン株式会社様、日本サーファクタント工業株式会社様の計3社が、栃木県保健福祉部薬務課長の八島利光座長のもとで、それぞれの日頃の業務に係る成果を発表し、活発な質疑応答が行われ、非常に充実した学会でした。

「生理処理用品の品質保証について」

花王株式会社 栃木工場

加持 章 様



「品質分野に関する改正薬事法の考察」

グラクソ・スミスクライン株式会社 生産本部

倉又 英幸 様



「防虫対策の導入から現在の取り組みについて」

日本サーファクタント工業株式会社 宇都宮事業所

相川 義明 様



発行日 平成24年11月 発行所 栃木県薬事工業会 宇都宮市本町12-11 栃木会館2階
TEL (028) 650-6163 E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp